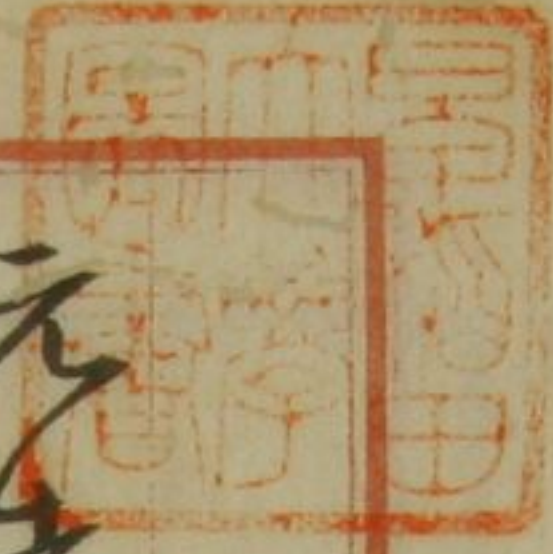


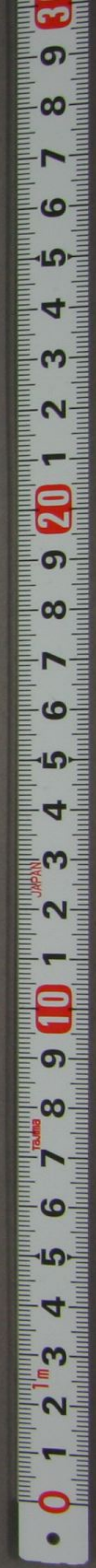
114  
A 489



元老院章程及山之係副議長  
之申立有之法律書与於之取  
為附成於所錄之附成以先以  
孰之附成者之附成也  
八年九月四日 三條大正  
大隈希儀殿

大正十一年四月

3756



414  
A 439

元老院章程

大正十一年四月  
大隈重信印寄贈

第一條

元老院ハ議法官ニシテ凡ソ新法制定  
旧法改正ヲ議定スル所ナリ

第二條

議官ハ特選ヲ以テ任ス

第三條

議官三十人ヲ定負トス

第四條

議官ニ勅任ヤラル者ハ第一華族第二勅

奏官ニ昇リシ者第三國ニ功勞アリシ者  
第四政治法律學識ヲ有スル者トス  
並ニ滿ニ十五歳以上ノ者ニ限ル

第五條

皇族滿十ハ歳トナルニハ勅命ヲ以テ議  
官ト為ルヲ得

第六條

議案ハ勅命ヲ以テ内閣ヨリ交附ス

第七條

議案本院ノ議定ニ係ハル者ト檢視ヲ經

ル者トノ類別アリ而シテ其別ハ内閣ニ於テ  
之ヲ定ム

第八條

急施ヲ要スルノ事件元老院ノ檢視ヲ  
經ルニ暇アラザル者ハ内閣ヨリ便宜布告  
ノ後ニ檢視ニ付スルヲ得

第九條

元老院ハ新法ヲ制定シ若クハ旧法ヲ廢止  
レ止スベキノ意見書ヲ上奏シ及ヒ議案ノ  
要旨ヲ捧クハ得其概可スル者ハ内閣

天  
若クハ  
檢視セ  
其旧法ヲ廢スル者ハ  
孤可メ直チニ行下ス

第十條

參議省使長官及法制官ハ其主任ノ  
事業ニ就キ内閣ノ委負トシ元老院ニ至  
リ議案ノ理趣ヲ辨明ス

第十一條

大臣參議省使長官ハ元老院ニ出頭シ  
意見ヲ陳フルヲ得但シ決議ノ負數

ニ入ラス

第十二條

元老院ハ大臣參議省使長官ノ出頭ヲ  
求ムルヲ得

第十三條

元老院ハ立法ニ関スル建白書ヲ受ク

第十四條

元老院ハ司法官ト行政官トノ際ニ起ル  
糾紛ヲ争フ決ス

第十五條

元老院ノ制ハ詔命ヲ以テス

元老院職制

議長 一員 年給六千圓

副議長 一員 年給四千五百圓

幹事 二員 年給四千五百圓

以上議官中ヨリ特選ス

議官 年給左ノ三等ニ分ツ

四千圓 三千五百圓 三千圓

以上勅任

大書記官 四等

樞大書記官 五等

少書記官

權少書記官

以上奏任

六等

七等